

フードサプライチェーンのLCA

－食品のカーボンフットプリントへの対応－

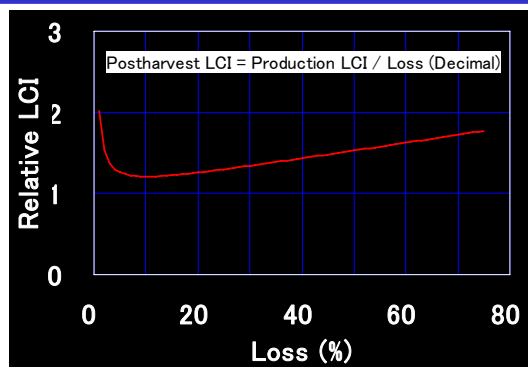
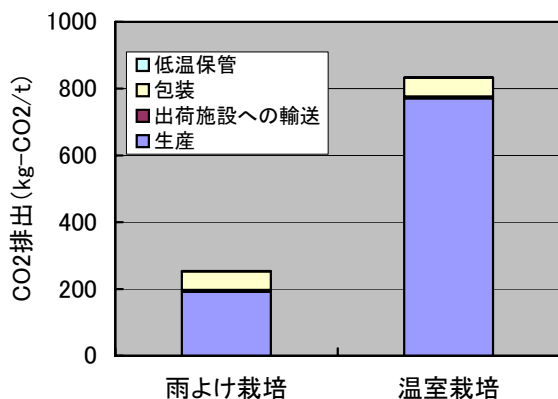
技術の特徴

1. 食品の生産（原材料の生産なども含む）から廃棄に至るフードサプライチェーン全体について、ライフサイクルアセスメント（LCA）手法により、環境への影響を評価する。
2. 主要な食品について、製品ごとにライフサイクル全体から発生するCO₂（ライフサイクルCO₂、LC-CO₂）を算出し、カーボンフットプリント（CF）として消費者に分かりやすく提示する。
3. CFによって、消費者の選択行動への影響を通じて、地球温暖化の主要な要因であるCO₂の削減に寄与する。

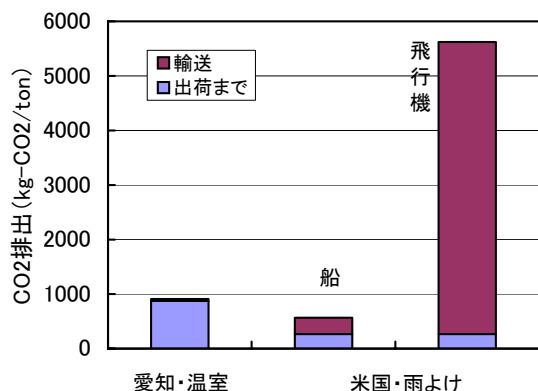
研究の背景

- ・京都議定書、さらには2050年における温室効果ガス（GHG）の半減目標など、GHGの排出削減は、極めて重要な課題であり、農業・食品分野においても、緊急な取り組みが不可欠である。
- ・CFについては、イギリスにおいては2007年から20社、75品目で試行されており、わが国においても2009年度から日用品や加工食品での試行が計画されている。

食品LCAおよびCFの例



ポストハーベストプロセスが食品のLCIに及ぼす影響（ロス率を考慮）



トマトの栽培、流通条件とCO₂排出



CO ₂ 排出量	75g
じゃがいもの栽培	44%
製造	30%
包装	15%
配送	9%
廃棄	2%

カーボンフットプリントの例（経済産業省HPより）

今後の展開

- ・共通インベントリ、CO₂の分配方法（アロケーション）の提案。CO₂以外のGHGへの対応。